

コロナ下における保育と子どもの育ちを考える I
予備調査から明らかになったこと

(4) 子どもの育ちを保障するための

② ICT等の活用

② 行政との連携

岡山大学学術研究院 西山 修



1 ICT等の活用

コロナ下において 子どもの育ちを保障していくため
各園では ICT等をどのように捉え どのような取組が
なされたのだろうか？

ここでICT (Information and Communication Technology) とは、
通信技術を活用したコミュニケーションとする





1 ICT等の活用

質問紙: VII. ICT等の活用について

- 1) 園において ICT等の活用を どのように考え 取り組まれたか？
(自由記述)
- 2) コロナ前における ICT等の活用度
- 3) コロナ下(現在)における ICT等の活用度
- 4) コロナ前における保育者のICT等の活用への関心度
- 5) コロナ下(現在)における保育者のICT等の活用への関心度
- 6) 子どもの育ちを保障する上でのICT等の活用への期待度



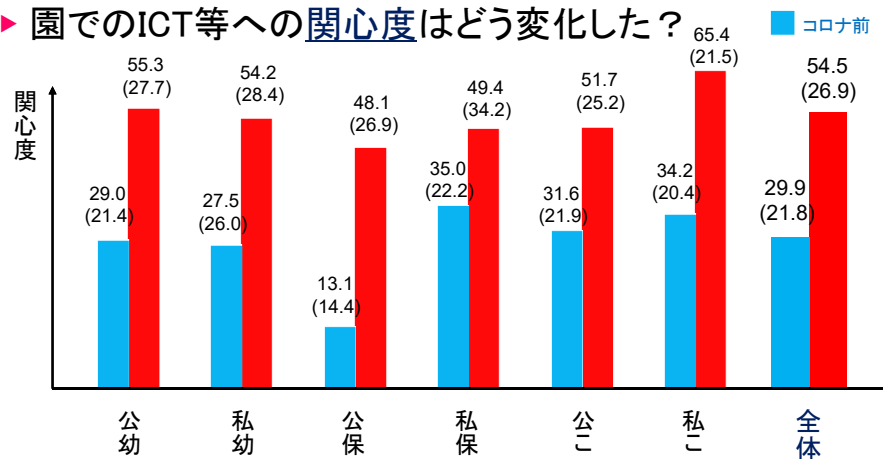
※Q2～Q6は0～100の得点で回答を求めた。それぞれ入力があった園を分析対象とした($n=172\sim179$)

3



1 ICT等の活用

▶ 園でのICT等への関心度はどう変化した？

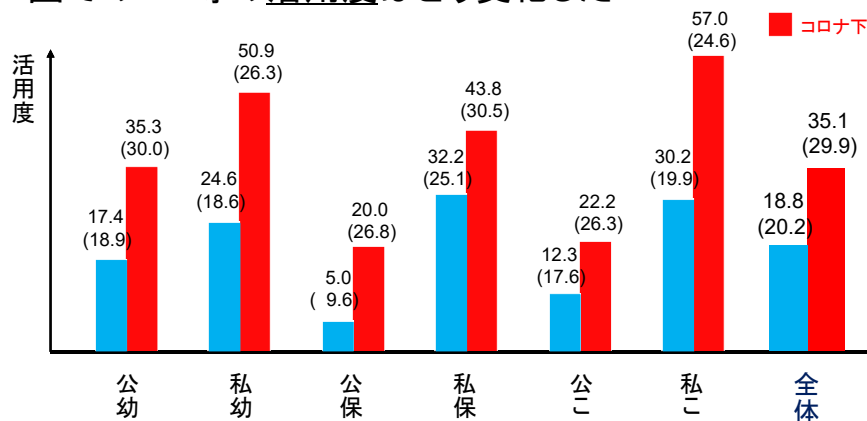


▶ コロナ下(現在)の関心度はコロナ前に比べ有意に上昇している。公立私立に関わらず高いが公保の上昇幅が大きい

1 ICT等の活用



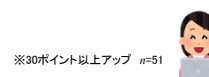
▶ 園でのICT等の活用度はどう変化した？



▶ 園の実感として **コロナ下(現在)**の活用度は **コロナ前**に比べ有意に上昇。私立で高い傾向。標準偏差の大きさ

5

▶ 活用度が上がった園では..



※30ポイント以上アップ n=51

「家庭でできる折り紙や製作物、園でしているダンスや手遊び歌遊びなどのメール配信。対面の保護者懇談会が難しいので、紙ベースと話しかける映像をYouTubeで配信」(東京・私立幼)

「登降園の管理をICT化したり、園での様子や活動を保護者に伝える手段として使ったりしています。なかなか保護者がじっくり保育を見れなくなっているので、活用させてもらってます」(徳島・私立こ)

「保護者の来園機会が減ったため、保育の見える化を推進(ドキュメンテーションや動画配信)。日々の様子を写真に収めていることで、子ども達の育ちにも気づき、共有することができるように」(広島・私立こ)

「Zoomによるクラス別懇談会の実施」(京都・私立幼)

「コロナ禍において、研修等が中止・延期となっていく中で、園内でのオンラインやリモートでの研修を活用し、職員間で情報を共有することで資質向上につなげている」(香川・国公立幼)

「もっと様々な活用方法があるのではないかと考えておりますが、まだまだ未熟な面もあり、勉強し、情報を吸収しなければと思います。今後はICTだけではなく、対面の良さと融合させながら、何が出来るのかを模索したい」(大阪・私立幼)

▶ 活用度に変化がなかった園では..



※変化なし n=74

「環境が整っていないため、実際できていない」(岡山・国公立幼)

「まだまだこれからです。いろいろ職員間で話し合って活用していきたいです」(香川・公立こ)

「園児数が非常に少ないため、今までの保育や感染対策で十分と考え、ICT等の活用には取り組んでいない。専門の技術を持った職員がいないため取り入れるのは難しい。また、機器がなく、したくてもできない」(徳島・公立こ)

「子どもの育ちを保障していく上で、ICTは特に必要と考えていません」(徳島・私立こ)

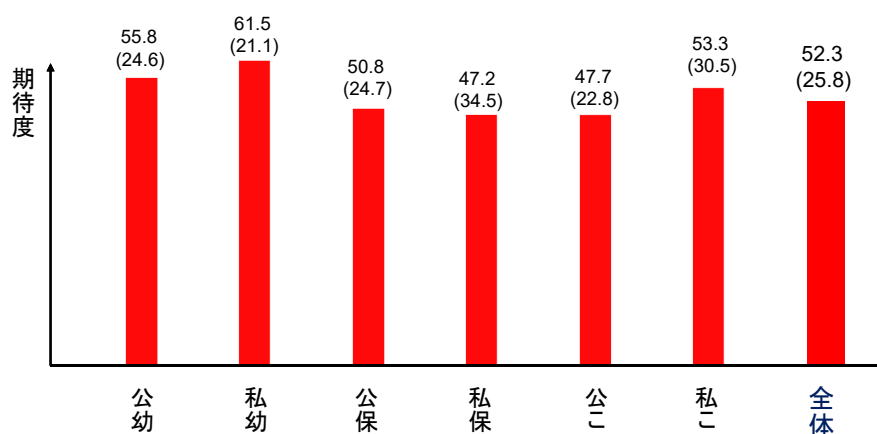
「個人情報の流出を鑑み、動画配信はしていない。写真にて活動の様子をご家庭へお伝えしている」(長崎・私立幼)

「どのように保育に生かしていけばいいかメリットも分かりませんが、実際に見る、触れる、聞く、匂うなど感じられる保育を大切にしたいので活用はあまり考えられません」(香川・公立こ)

「今のところまだ検討中で、取り組んでいない。子どもの育ちを保障することと職員の業務を減らすことで、保育に活かせる時間を増やしたい。コロナでなくても」(滋賀・私立保)



▶ 子どもの育ちを保障する上でのICT等の活用への期待度は？



▶ コロナ下(現在)の期待度は 園の種別にかかわらず 総じて高い。公保も高い

8

- ▶ カリキュラムについて ICT(動画等)の活用により 子どもの興味や発達に応じた内容でイメージを広げる工夫を行ったか？

①行っていない ②あまり行っていない
③行っている ④よく行っている

①～④群について **コロナ下(現在)**の関心度, 活用度, 期待度を従属変数として平均値を比較したところ..

- ▶ 関心度①<④ 活用度①<③④, ②<④ 期待度①<④で有意。 ∴実際にICT等を活用した経験があるほど関心度が高く子どもの発達保障への期待も高くなっている



2 行政との連携

コロナ下では情報が錯綜し 様々な判断に苦慮した園も多い。行政との連携(通知, 情報提供などを含む)の重要性が改めて実感された。各園では どのような課題や問題があったのだろうか？





2 行政との連携

質問紙：Ⅷ. 行政との連携

- 1) 行政との連携について課題や問題となったことは？（自由記述・2020年4月全国一斉緊急事態宣言以降）
- 2) 緊急事態時の行政との連携において 今後 求められるものは？（自由記述）
- 3) コロナ前における 行政との連携度
- 4) コロナ下(現在)における 行政との連携度
- 5) コロナ前における行政からの情報・通知のわかり易さ
- 6) コロナ下(現在)における行政からの情報・通知のわかり易さ

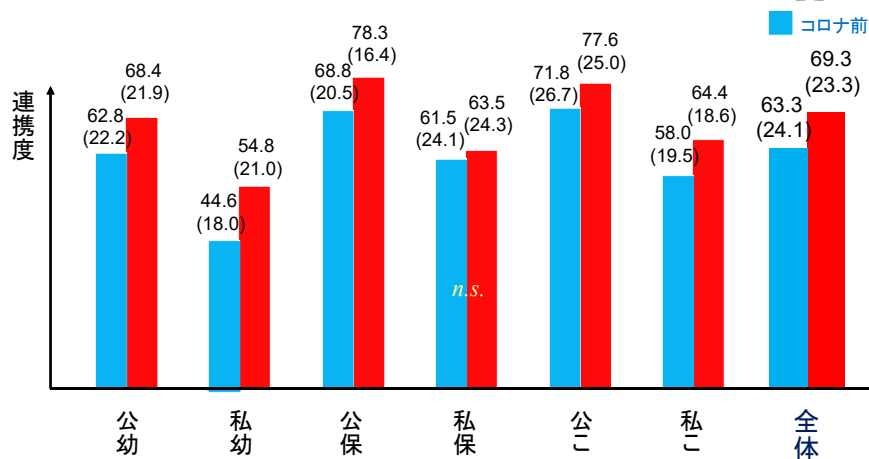


※Q3～Q6は0～100の得点で回答を求めた。

11

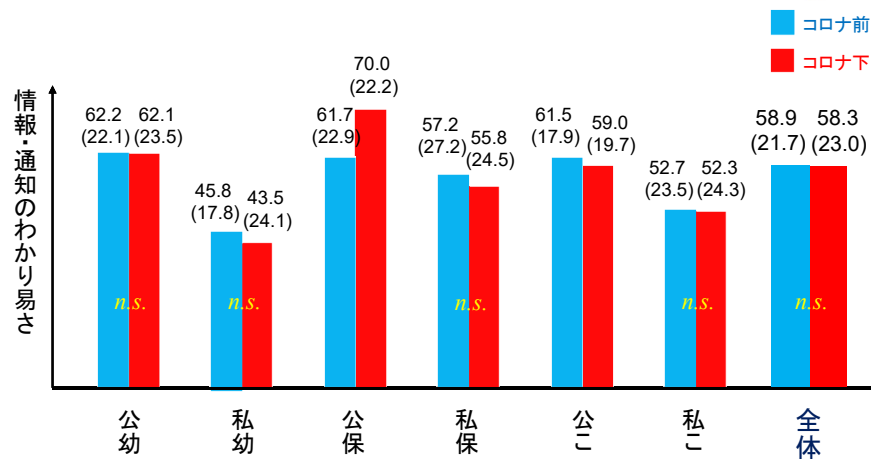


▶ 行政との連携度はどう変化した？



▶ コロナ下(現在)の行政との連携度は コロナ前に比べ 有意に上昇している。私保のみ有意差なし。全体的に私で低め¹²

▶ 行政からの情報・通知のわかり易さは？



▶ コロナ下(現在)の情報・通知のわかり易さは コロナ前に比べ有意な違いはない

13

▶ 行政との連携度が低いと捉えていた園では..

※1SD以下の園 n=24

- 「緊急事態宣言期間中等の園の利用について、行政から保護者への説明が不十分で、保護者の不安や不信感が増した。また、保護者へ方針を伝えるタイミングが直前で、より不安を煽った」(地方・国公立幼)
- 「登園自粛期間をもうけることが直前に決まり、保育の準備内容や給食の発注、返金など急を要する変更対応が必要であった」(地方・国公立幼)
- 「私学助成園のため、自園独自での行政との連携は特にありませんでした。地域の私立幼稚園と足並みを揃えることは意識しました。情報を確認してから園判断となりましたので、保護者への連絡がぎりぎりに。」(都市部・私立幼)
- 「教育委員会は私学の園に対して意識がなく、小学校での休校等の情報を入れない。保護者から情報を得て、その後、慌てて対応ということが多かった。情報共有はすべての施設で行うべき」(地方・私立こ)
- 「コロナの状況が変わるたびに、行政から通知やマニュアルが頻回に送られてきた。最新の通知を保育に反映させるために今までの対応を変更することが何度もあった。現場は疲弊していった。予算も十分ではなかった。また、私立園のため、園の判断にゆだねられる場合(行事やプールの実施)も多かった」(地方・私立保)



子どもの心もちは極めてかすかに、極めて短い。
濃い心もち、久しい心もちは、誰でも見落とさない。
かすかにして短き心もちを見落とさない人だけが、
子どもと俱にいる人である。

倉橋惣三著『育ての心』より



※ご協力、ご回答をくださいました先生方に 心より御礼を申し上げます。